

浜松市立佐久間中学校

令和6年度 第4回 学校運営協議会

<次 第>

※全体進行：教頭

- 1 日程説明
- 2 会長挨拶
- 3 校長挨拶
- 4 議長の選出
- 5 前回会議録の確認
- 6 今年度の学校運営協議会の取組
- 7 熟議
 - (1) 学校関係者評価について 教務主任
 - (2) 学校運営協議会の自己評価について 教頭
 - (3) 来年度の学校運営の基本方針について 校長
 - (4) 休日の部活動地域移行について 校長
- 8 浜松市教育委員会教育総務課から
- 9 連絡
 - ・夢育やらまいか（CS加算分）について
 - ・健全育成会だよりの地域掲示について

日 時 令和7年2月14日（金） 14：30～16：00

会 場 佐久間中学校会議室（2階）

▶ 学校運営協議会委員・オブザーバ・ディレクター一覧

☆委員

会長	高氏 秀佳	委員	鈴木 千穂
副会長	平賀むつみ	委員	笹野 訓子
委員(学校支援CD)	奥山 和子	委員	山本 巖
委員(学校支援CD)	向坂 美保	委員	塩澤 充彦
委員	古尾 春子		

☆オブザーバ

大見 芳	NPO 法人がんばらまいか佐久間	長谷川陽子	佐久間図書館
鈴木 充宏	佐久間支所		

☆ディレクター

新聞千代子	校務アシスタントと兼務
-------	-------------

▶ 年間の学校運営協議会の日程

回	実施日	時間	主な内容
第1回	4月5日(金)	14:30~16:00	
第2回	6月24日(月)	14:20~16:00 (含交流活動)	
第3回	10月24日(木)	14:30~16:00 (含授業参観)	
第4回	2月14日(金)	14:30~16:00 (含授業参観)	・ 学校関係者評価に基づく協議と来年度の 学校運営の基本方針の承認等

▶ 生徒数および教職員一覧

年組	男	女	計	家庭
1-A	4	3	7	7
2-A	2	6	8	8
3-A	2	2	4	4
合計	8	11	19	19

1年	主 任	内山 博文	生徒指導主事
	A組担任	河邊 友希	特活主任、総合的な学習
2年	主 任	恩田 晴久	研修主任
	A組担任	内山 亜結	人権教育
3年	主 任	森本美穂子	発達支援教育
	A組担任	藤田 至真	生徒会、道徳主任
	学年付き	内山美代子	進路指導主事

令和6年度 第3回 佐久間中学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和6年10月24日(木) 14時30分から16時30分まで
- 2 開催場所 佐久間中学校 会議室
- 3 出席委員 高氏 秀佳、平賀むつみ、古尾 春子、奥山 和子、向坂 美保、
山本 巖、塩澤 充彦
- 4 欠席委員 鈴木 千穂、笹野 訓子
- 5 オブザーバー 長谷川陽子(佐久間図書館)
- 6 学 校 西田 亮(校長)、鈴木 政晴(教頭)、高原 英樹(教務)
- 7 傍 聴 者 0人
- 8 教育委員会 井島 健蔵(指導主事)
- 9 会議録作成者 CSディレクター 新聞千代子
- 10 会議記録

司会の教頭から、委員総数9名のうち7名の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。また、会長が議長として議事を進行してもらう旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

熟議

(1) 9月のCS活動について報告(教頭)

○運動場クリーンアップ作戦(9月19日)

体育祭に向けた環境整備活動として、回覧板にてボランティアを募集した。ボランティア4名を含む11名で、草刈りと草取りを行った。生徒たちが整えられた環境の中で体育祭を開催することができたことに感謝したい。

○家庭科ボランティアティーチャー(調理実習3回、ミシン実習6回)

支援コーディネーターに、保護者と地域から家庭科の実習時にボランティア集めをしていただき授業をサポートしてもらっている。支援コーディネーターを含め、毎回3～5名のボランティアが来校し、大変助かり、内容も充実している。

○資源回収(11月17日)に向けた準備

今年から、自治会長との事前連絡や回収場所の確認等の準備を支援コーディネーターにお願いしている。日中に調整できるようになり、学校の負担が大幅に軽減された。

○ST終日探究活動(総合的な学習:9月12日)

4月から地域にまつわる個人テーマを決め、探究活動を行っている。昨年度の熟議で「終日探究活動の日を設定しても移動に時間がかかるため活動の時間が確保しにくく『自立した学び』を深めにくい」との反省から、今年度はCS加算6万円を充てタクシー2台を借り上げることにした。タクシーを利用したことにより移動時間が昨年よりはるかに短縮され多くの場所を効率よく巡回することができるようになった。濃密で有意義な探究活動を行うことができた。

○CS活動から見る中高一貫校による生徒の変化(各委員より)

- ・ 統合当初、中、高校生が混ざって大丈夫だろうか、といった懸念の声が聞かれたが、互いに助け合い溶け込んでいるように思った。(高氏会長)
- ・ 高校生が優しくなっているように感じるのは中学生と同じ校舎で生活していることも関係しているかもしれない。互いにより影響を感じる。(古尾委員)
- ・ 生徒は大人が思っているのとは違った成長をみせる意外さと驚きとを感じずにはいられない。(平賀委員)
- ・ 中学の体育祭のブログを拝見した。生徒と先生の熱意が伝わってくる。(向坂委員)
- ・ 小学生の運動会に中高生や外部からの高校生の参加があった。佐久間出身でない高校生もいて最初は心配していたが、地元の子達に支えられてか溶け込んでいる気がする。(塩澤委員)
- ・ 地域のイベントの練習をするにも和気あいあいと自然に混ざっているので大変安心した。(平賀委員)
- ・ 小規模校なので一人外れるわけにはいかないといった環境が影響しているのでしょうか。佐久間という地域性もよいのかもしれない。(向坂委員)

(2) 休日の部活動地域移行について

○浜松市の方針、佐久間中学校の方向性(案)の説明(校長)

- 令和7年度試行、令和8年9月より移行予定
- 現行の陸上競技部、ソフトテニス部、弓道部について、休日の運営団体の立ち上げと指導者の発掘が当面の課題。1つの案として、運営団体の代表を学校運営協議会の委員が担うという考えはどうか。
- 今後、指導者の発掘と共に、運営団体のあり方について継続して話し合い、意見やアイデアを出してもらいたい。

(委員・オブザーバーより)

- ・ 生徒が継続的にスポーツや芸術を続けられるためにはどう進めたら良いか持続可能なしくみが大切だと思う。(長谷川オブザーバー)
- ・ 平日指導の教員と休日指導者との指導内容の違いに生徒が戸惑うのではないかと。(向坂委員)
- ・ 大会へ出る場合は、クラブチームとしての参加も検討していくのか。(塩澤委員)
- ・ 大会運営や審判等も教員が土日に行っているの、その点も含めて今後の動向を見ていきたい。(校長)
- ・ 休日の部活動地域移行のあり方について今後も継続的に協議しなければならない。(古尾委員)
- ・ 結論は出ないため今後も協議会において話し合いを進めていきたい。(高氏会長)

11 浜松市教育委員会教育総務課から

休日の部活動地域移行については教育委員会にとどまらず、文化振興課、スポーツ振興課、社会体育課など多岐にわたって関連しているため調整が複雑な作業になるだろう。また、コンプライアンス面でも教室使用の制限や楽器等の保険、場所の確保、子供への支援、指導者への支援等あわせて今後検討を継続する。今年度中に次の方針が示されると思うので、地域の実情に合った地域移行を進めてもらいたい。

12 連絡

(1) 次回会議の予定の確認(教頭)

今回は、令和7年2月14日(金)午後2時から、授業参観に引き続いて佐久間中学校会議室で開催する。

(2) 評価アンケートについて(教頭)

協議会評価、学校評価の2種類を近日中に郵送する。回答をお願いしたい。

(3) 来年度の意向調査書について(高氏会長)

次年度協議会が2期3年目に入る。全員の一斉入替を避けるため、今年度から入替をしていきたい。継続、辞退、一任の意向調査書を返送いただきたい。

今年度の学校運営協議会の取組

時期	活動	主な内容	様子
6月	第2回 学校運営協議会 ST探究活動 地域の方との交流会	・9月「終日探究活動の日」に向け、 情報交換	
7～9月	運動場クリーンアップ作戦	・事前のチラシづくり ・回覧板での周知 ・当日の清掃活動参加	
9～10月	家庭科ボランティア	・裁縫と調理実習 計6回のボランティア募集活動 ・当日のボランティア参加	
10月	第3回 学校運営協議会	・平日部活動の地域移行 検討開始	
10～11月	資源回収	・事前の自治会長連絡 ・当日の回収場所での地域の声集め ・次年度の進め方、情報交換	
11～3月	家庭科 生徒オリジナル弁当 の地域販売	・事前の打ち合わせ、日程調整 (家庭科教員、販売店) ・ポスター作成、掲示依頼 ・ラベルづくり	
11～2月	生徒作品のふれあい センターまつり掲示	・事前の打ち合わせ、日程調整 ・搬入、撤収活動	
2～3月	健全育成会だよりの 地域掲示(予定)	・掲示場所への連絡 ・掲示、撤収活動	

R7 佐久間中学校 学校評価（自己評価）

回答人数 19人 12人 10人 9人

1 目指す学校	生徒	保護者	教員	協議会
①学校は、生徒一人一人の個性や気持ちを大切にしている。【一人一人が主役となって輝く学校】	94.7	83.3	100	100
②学校は、安全で安心できる場所である。【安全で安心できる温かな学校】	94.7	91.6	100	100

2 目指す生徒		生徒	保護者	教員	協議会
【多様な考えを受け止め、多様な見方ができる生徒】・・・かかわる力					
①生徒は、自分と違う考えの他者を受け止め、多様な見方をしている。	中高交流会 地域との交流	89.5	91.6	100	100
②生徒は、自分の思いや意見を表現したり他者の考えに触れたりして、広い視野や多様な視点で考えようと努めている。	S T 体験活動 世代間交流	100	91.7	100	100

【自ら働きかける気概をもち、実践できる生徒】・・・みつめる力		生徒	保護者	教員	協議会
③生徒は、自分の役割を責任を持って果たそうとしている。	合同体育祭 文化発表会	100	100	100	100
④生徒は、何事にも全力を尽くし、課題や目標に向かって計画を立て実行している。	立志式 マラソン大会	89.5	91.7	100	100

【未知の状況にも対応できる実践力をもった生徒】・・・ふかめる力		生徒	保護者	教員	協議会
⑤生徒は、自ら課題を見つけ、協働的な学びを通して課題解決しようと努めている。	S T 終日活動 「自分時間」	79 15人	75 9人	100	90
⑥生徒は、学習や取組を振り返り、自分が得意なこと（できること）と苦手なこと（できないこと）を把握し、学習の仕方に調整や改善を加えようとしている。	メタ認知講座 情報モラル講座	94.8	75 9人	90	65

【新たな価値を創造し、自己の成長につなげる生徒】・・・かなえる力		生徒	保護者	教員	協議会
⑦生徒は、授業で学んだことを、他の教科や日常的な場面で活用し、知識をつなげようと努めている。	S T リサイタル 修学旅行	89.4	50	90	90
⑧生徒は、郷土の「人・もの・こと」に学び、郷土を大切にしようとする気持ちを持っている。	職場体験 佐久間夢講座	100	91.7	100	100

1 目指す学校 【一人一人が主役となって輝く学校】【安全で安心できる温かな学校】 → 4者とも高い数値を示しているがそう感じていない生徒や保護者が1名いることにも目を向けなければいけない。
2 目指す生徒 【多様な考えを受け止め、多様な見方ができる生徒】・・・かかわる力 → 4者とも高い数値を示しているが、多様な受け止めが難しく、多様な見方が少し難しい生徒（1名）もいる。
【自ら働きかける気概をもち、実践できる生徒】・・・みつめる力 → 行事においては役割を責任をもってしっかり果たそうとしている。
【未知の状況にも対応できる実践力をもった生徒】・・・ふかめる力 → 自ら課題を見つけたり、協働的な学びを通して課題解決することが苦手の生徒が若干いる。
【新たな価値を創造し、自己の成長につなげる生徒】・・・かなえる力 → 他の教科や日常的な場面で知識をつなげていくことができていないと考える保護者が若干いる。

令和6年度 学校運営協議会自己評価表 記述のとりまとめ

<本年度の目標>

『こころざしをもち、共に高め合う生徒の育成』の学校教育目標の下、連携型中高一貫の特色を生かしつつ、さまざまな人と関わりながら高め合える教育活動を行う。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・ 基本方針について、各委員がきちんと読み理解するよう努力していたと思う。疑問について発言があり、理解が深まっていった。
- ・ 基本方針について丁寧な説明があり、取り組みについて理解でき、より分かりやすいもので共感できた。
- ・ 昨年よりも内容が具体的に分かりやすくなり、校長先生からの説明も理解しやすく良かった。一人一人が主役になるための内容になっていることがよい。
- ・ タクシー2台を借り上げ、地域についての学習<地元を知る>は、これからも続けていくべきだと思う。
- ・ 着任して1年間の学校運営や委員からの意見を基に、昨年から変更した内容等について詳しい説明があり、それを受けての熟議も活発にされ、方針についての理解も深まった。
- ・ 基本方針について学校からの説明を受け、身につけたい4つの力では、それぞれ具体的にどういった活動や行事が関連してくるか理解でき、生徒たちをサポートしていく上で何ができるのか活発な議論が行われた。
- ・ 校長の説明を聞き、分からない用語、疑問に感じたことを質問し、理解し納得できる回答を得られた。率直に意見を述べることができた。
- ・ 以前と比べるとグランドデザインも分かりやすく、疑問に思ったことも積極的に質問し、理解できたと思う。
- ・ 身につけたい4つの力について充分に説明され、協議されて委員の合意が得られたと思う。

【総括】

西田校長が着任して1年が経過し、学校運営委員からの意見を基に策定された学校経営の基本方針、身につけさせたい4つの力（かかわる力・みつける力・ふかめる力・かなえる力）が明確になった。運営協議会として、どのようにしてその達成へ向かうためにできる支援活動を行っていくか、今ある支援活動の在り方も含め、議論を深めることができた。

また新年度に向け、休日部活動の地域移行について、校長よりその時点での浜松市の方針の説明と本校の方向性が示された。疑問に思うことを率直に質問することができ、しくみを含め理解を深めることができた。

＜評価項目2＞承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる
学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・ 授業参観したり子供たちと触れ合うこともしたりして方針との関係を考えることができた。子供のよいところも見つける話し合いもできた。
- ・ 生徒たち一人一人が地域の課題や良さを見つめなおし積極的に意見を述べ合う姿を見て目指す学校像に沿っていると感じ、学校と地域のつながりや役割を確認できたと思う。
- ・ 小規模校ならではの予算の使い方、個の意欲や目標達成のための工夫ができていたと感じた。
- ・ 家庭や地域からの学校への支援の活発化は、学校の実情について知ってもらうことから始まる、という視点での熟議が行われたように思う。
- ・ 生徒たちの掲げた探究活動について意見交換の場を持てたのは地元地域を知る上で貴重な時間となっていた。
- ・ 熟議の結果、学校・家庭・地域がそれぞれ実行すべきこと、役割分担が明確になった。また、見返すこともできた。
- ・ 総合的な学習、探究活動への支援では、教育活動の充実につながる活動ができたと思うが、それ以外では具体的に支援活動ができていなかったと思う。協議では、各委員が忌憚なく熟議を進めることができた。
- ・ ST活動の地域の方たちとの交流会では、みんな積極的に話を聞きに行く姿は、委員全員が驚かされ、それと同時に身につけたい4つの力が身につけていると感じた。
- ・ 地域の高齢化、生徒数の減少により、より一層の対応が必要になってくると思うが、今年度については各委員の意見が反映され、より良い学校支援活動につながったと思う。

【総括】

昨年度に引き続き、学校支援活動を通じて、地域の人・こと・もの、といった教育資源を活用する教育活動を支援することができた。特に総合的な学習の時間の個別探究活動の意見交換会や終日探究の日には、これまでにはない具体的な質問をする生徒の姿が見られ、4つの力が確実に育っている実感が得られた。夢育やらまいか（CS加算）による金銭的な支援をタクシー借り切りに充てたことで、充実した取材活動ができたとの報告も受けた。昨年度の熟議が実を結んだ成果と言える。今後も生徒の活動を充実させるための支援活動を継続していきたい。

＜評価項目 3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・ たより等、丁寧に発信されていた。
- ・ 学校の様子は回覧版で知ることができるが、協議会での協議結果については十分な情報発信は行うことはできなかった。
- ・ 丁寧な会議録で振り返りができてとてもよかった。生徒一人一人の成長の表われや地域とのかわりなどをたより等で発信できていた。
- ・ 学校運営協議会の存在が、どれだけ家庭（保護者）、地域に認知されているのか、どのような情報発信をしたのか、実態把握の必要はあると感じる。
- ・ 回覧で地域に情報発信することにより、現在の学校の活動状況や生徒たちの様子などを地域住民に伝えることができていた。
- ・ （私は浦川地区なので）浦川については発信できた。山香、城西、佐久間についても他の委員さんから情報が得られた。
- ・ 私個人としては、情報発信していませんでした。
- ・ 回覧板、ホームページで活動の様子を発信することができたと思う。ただ、年配の方が多い佐久間地区でホームページをみる方がどれくらいいるか。
- ・ 学校だよりや回覧板にて地域の人に学校はできているが、どの程度地域住民に浸透しているかは疑問。

【総括】

学校だより、回覧板、ホームページによって、学校と協議会の関係をその都度、丁寧に情報発信できている。活動を理解し、快く協力してくれる方がいる一方で、会議でのやり取りまでは地域に広まっているとは言えない部分もある。高齢者が多いこの地区では、社会のデジタル化に追いついていけない難しさもある。また、学校運営協議会、学校支援コーディネーターなどの名称が分かりにくいという声もいただいている。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・ 継続できたら、と思う。
- ・ 学校運営協議会が学校と地域をつなげる役割を果たすものであり、子供たちがよりたくましく生きる力の育成に協力できるものでありたい。
- ・ 生徒の充実した学校生活となるため、地域としてできるだけの支援をするとともに、その取組を地域の方にもますます理解を深めてもらえるように努力したい。
- ・ 極少人数となった生徒の教育活動への関わり方、生徒が通わない地域とのつながりのもたせ方等、今後ますます深刻化すると予想される課題への支援策について取り組む必要があると思う。
- ・ 少人数だからこそ、取り組める活動について継続し、地域との関わりながら充実した学校生活を過ごしていけるよう目標設定していただきたい。
- ・ 校区の生徒が減少していくけれど、佐久間の自然、人情を生かした中学校を維持してほしい。
- ・ 現在、廊下に掲示されているクリスマスツリーに、生徒一人一人の良いところが温かい言葉で書かれていた。「一人一人が主役となって輝く学校・安全で安心できる温かな学校」を目指す取組の1つだと思う。様々な場面で、そうした先生方の思いが表れていてよい学校だなと感じる。目指す学校像はこのまま継続していただきたい。文化活動発表会でも一人一人の生徒が輝いた。少人数ながら美しいハーモニーでどの学年もすてきでした。
- ・ 少しずつ学校運営協議会というものが地域や保護者にも認知されてきたとは思いますが、まだ知らない方も多いと思うので力を入れていきたい。
- ・ 特に大きな問題はないので、今までの4つの力を推進していけば良いのではないかなと思う。ただ実行するときにコーディネーターさんに全てを一任するのではなく、委員も協力する体制をとったら、より共有するものが出てくるような気がします。

【総括】

生徒に身に付けさせたい力を踏まえ、支援するための人的、経済的サポートのしくみを提案し、地域資源の掘り起こしを進めてきた。少人数だからこそ取り組める活動を継続し、地域とのつながりを常に意識し、生徒一人一人が主役となって輝く学校づくりのサポートをしていきたい。また、学校運営協議会の取組が地域の方々や保護者に十分理解されていると言い難いので、その点の浸透について力を入れていきたい。

来年度は、令和8年9月から実施される「休日部活動の地域移行」について本格的な準備が必要になる。これも地域との関係が不可欠な活動となることから、学校運営協議会もその一助となれるよう学校と共に議論を重ねていきたい。

【学校教育目標】

こころざしをもち 共に高め合う生徒



第4次浜松市教育総合計画

《浜松市の目指す子供》

- 自分らしさを大切にする子供
- 他者と協働し主体的に行動する子供
- 自己調整しながら粘り強く取り組む子供

【目指す学校像】

一人一人が主役となって輝く学校
安全で安心できる 温かな学校

《中学校区の目指す子供》

志をもち、自分らしく
逞しく生き抜く子供

かかわる力

多様な意見を受け止め 多様な見方ができる生徒

- 自分と違う考えの他者を受け止め、多様な見方をすることで自己の成長につなげる。
- 他者との対話的・協働的な学びを通して、広い視野や多様な視点で考える。

みつける力

自ら働きかける気概をもち 実践できる生徒

- 自分の役割を責任をもって果たし、集団に貢献することで自己有用感を高める。
- 何事にも全力を尽くし、新たな課題や目標を見つけ、それに向かい計画を立て実行する。

ふかめる力

未知の状況にも対応できる実践力をもった生徒

- 自ら課題を見つけ、他者との対話を通して思考を深めながら課題解決に向かう。
- 学習や活動を振り返り、自分に向き合い、自身で学びをコントロールする自己調整力を身に付ける。

かなえる力

新たな価値を創造し 自己の成長につなげる生徒

- 学びを将来の自分や実社会とつなげて考え実践に結び付ける。
- 郷土の「人・もの・こと」に学び、郷土を大切にしようとする気持ちを実践に結び付ける。

身に付けたい4つの力

中高合同体育祭 合同マラソン大会 中高交流会 佐久間夢講座
文化活動発表会 STRサイタル 地域学校協働本部との交流
特色ある教育活動

連携型中高一貫校

保護者・地域に“信頼される学校”

- 少人数の良さを生かし、一人一人を大切にする教育活動を展開する
 - ・生徒理解を基盤とし、気持ちに寄り添う温かな支援
 - ・「認め・励まし・鍛え・伸ばす」をモットーに、生徒一人一人が自分らしさを発揮し活躍できる場
- 地域・保護者との連携・協働を推進する
 - ・学校運営協議会を生かした「地域ぐるみ」の教育活動
- 組織的な教育力「チーム佐中」で学校を動かす
 - ・「前始末」と「協働」によるチームとしての学校運営

生徒にとって“魅力ある学校”

- キャリア教育を核とした教育活動を推進する
 - ・すべての教育活動においてキャリア教育で身に付けたい4つの力の視点をもった教育活動
- 「自律した学び」を創造する
 - ・他者との対話をもとに思考を広げ深める生徒
 - ・ティーチャーからファシリテーターへと変容する教師
 - ・ICTを有効に活用した学習者主体の授業
- 小規模校ならではの特色ある学校づくりを推進する
 - ・佐久間分校・水窪中との中高一貫教育の充実
 - ・郷土の「人・もの・こと」を題材にした探究的活動

社会に開かれた教育課程

佐中コミュニティ・スクールを生かした学校運営
地域ぐるみの人づくり

12月18日開催の第3回地域クラブ協議会では、「ワーキンググループからの提案」と
「休日の部活動の地域移行に関するガイドライン」について協議しました。

【ワーキンググループからの提案】

- 4つのワーキンググループから、
個別の課題に対する方向性について報告しました。



＜運営団体・実施主体＞

- 市が認定する地域クラブ創設に向けての説明会や個別相談会を実施する
- 中学校地域クラブやスポーツ少年団等、既存のクラブ団体への情報提供や連携を進めていく
- 市が認定する地域クラブへの支援について、費用援助のあり方も含め、引き続き検討を進める

＜指導者＞

- 指導を希望する教員は、営利企業等従事の申請により、地域クラブ活動に関われるようにする
- 民間企業や大学と連携し、指導者の確保や研修動画等の作成を進める

＜活動場所（活動用具）＞

- 既存の要領等を改定し、学校施設の優先使用や使用料免除、備品の使用を認める方向で進める
- 校舎内の使用については、使用できる学校を選定し、活動場所を拠点化する

＜費用・学校との連携等＞

- 参加者への費用援助について、浜松市の既存の仕組みや他市の取組を参考に実現を目指す
- 市が認定する地域クラブの名称を決め、地域クラブ活動への周知促進を図る

【休日の部活動の地域移行に関するガイドラインについて】

- ガイドラインの骨子について、以下の内容を柱に提案しました。

はじめに

第1章 基本理念と活動指針

第2章 市が認定する地域クラブに参加するために

第3章 その他（けが等の対応、相談体制など）



【第3回地域クラブ活動協議会の様子】

令和7年10月を目途に策定できるように、引き続き検討します。



第3回地域クラブ活動協議会の議事録は

浜松市HPに掲載されています。



・第3回地域クラブ
活動協議会議事録

(様式2) R6年度から提出の必要がなくなりました。

令和7年2月17日

浜松市教育委員会 教育総務課
学校・地域連携担当課長

浜松市立佐久間中学校
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会
代表 塩澤 充彦

夢育やらまいか事業（CS加算分）報告書

夢育やらまいか事業のCS加算分の用途等について、下記のとおり報告します。

記

1 学校運営協議会からの意見

別紙「夢育やらまいか事業に対する意見書」のとおり

2 意見に基づき実施した活動等

No.	記号	事業内容	具体的活動内容
1	イ	総合的な学習の時間の充実	- 総合的な学習の調査活動を終日にわたって町内で実施する際に、生徒の移動手段として、午前9時から午後2時まで、学区を自由に巡回するタクシーを2台借り上げた。 - 昨年度までは計画しても移動できない、または移動に非常に時間がかかるという課題があったが、タクシーを借り上げ移動できるようになったことで、効率的に移動し取材や体験活動を充実させることができるようになった。

3 活動に要した経費

夢育やらまいか事業収支決算書のとおり

Memo

▶ R7の学校運営協議会の日程(案)

月	日	曜	会合名	時間	備考
4	8	火	第1回学校運営協議会	14:30～16:00	・入学式後、学校運営の基本方針や本年度の協議会目標の確認
6	23	月	第2回学校運営協議会	14:20～16:00 含む交流活動	・総合的な学習における各生徒の探究活動への助言を通して教育活動の実際を知っていただき熟議に活かす。
10	23	木	第3回学校運営協議会	14:30～16:00 含む授業参観	・授業参観の様子をふまえ、基本方針に照らしての教育活動の評価
2	13	金	第4回学校運営協議会	14:30～16:00	・学校関係者評価に基づく協議と来年度の学校運営の基本方針の承認等